

# 盛岡視覚支援学校

## 研究テーマ

「視覚障がい教育の専門性に基づく指導の充実」

～学びあいや授業づくりを通して～

(2年研究 1年次)

### 1 全体研究

#### (1) 研究目的

①共同で学びあったり、研修を充実させたりすることによって専門性の維持・向上を図る。

②視覚障がい教育の視点から授業実践に取り組み、その評価や改善を通して授業力の向上を図る。

#### (2) 研究内容・方法

視覚障がい教育の専門性の向上のため、研修、研究が必要な分野ごとにグループを設定する。今年度は、6グループを立ち上げた。グループごとにサブテーマを設定し、毎月研究会を行う。グループごとに研修会や授業研究会を計画、実施し、より効果的な手立てや改善案について協議したり、専門的な知識を身に付けたりする。

2年研究の1年次である本年は、グループ内での学び及び校内研修会の充実により、個々の専門性の向上を図っていく。2年次は、1年次の学びと課題を実践につなげる授業実践及び事例を提案していく。

#### (3) 研究実践

以下の6グループで研究を進めた。各グループの実践を以下にまとめる。

##### ①点字指導

『点字学習指導の手引』に書かれている内容をもとに、段階的な点字指導のあり方について確認した。

##### ②視覚補助具を活用した弱視指導

弱視眼鏡(単眼鏡、ルーペ)体験や授業実践を通して、教材の在り方や指導のポイントを検討した。

##### ③歩行指導

校内講師、外部講師による歩行研修会を行った。担当する児童生徒の歩行に関する課題について、事例検討会を行った。

##### ④触察の仕方に関する指導

幼小小学部の授業研究を通して、集団での触察

指導から個別最適な学びへとつなげるための指導の在り方や手立てを検討した。

##### ⑤理療科における指導

今年度から理療科用の教科書としても導入されているデジタル教科書の閲覧アプリ「UDブラウザ」について研修会を実施した。特徴、端末へのデータの転送方法、操作方法などについて実践を交えながら説明した。

##### ⑥寄宿舎における支援

個別のQOL作成に関わる職員の専門性の向上を目指し、今年度は研修会を多く取り入れた。研修会を振り返り、職員個々が何が必要なのかを考えることで1年目のまとめとした。

### 2 講演会(高教研講演会)

演題: 視覚障害教育におけるICT活用入門

講師: 愛知大学 准教授 相羽 大輔氏

期日: 8月2日(水)

参加者: 40名

### 3 校内研修

#### (1) 研修報告会

外部団体の研修会の内容を全職員で共有する場を3回設定した。

#### (2) 全校研究の各グループによる研修会の実施

(例 単眼鏡の基本操作と体験、公益財団法人日本盲導犬協会スマイルワン仙台から講師を招いての研修会など)

### 4 他の教育研究機関との連携

#### (1) 北東北3県盲ネットワーク関連

①寄宿舎指導員研修会(8月1日、本校主管)

②理療科実技研修会(7月26日、本校主管)

③早期教育研修会(12月25日、青森)

#### (2) 全日本盲学校教育研究大会北海道大会

(7月27日・28日)

#### (3) 東北盲学校教育研究大会秋田大会

(11月9日・10日)

### 5 刊行物

研究収録としては刊行しないが、CDにまとめ、閲覧できるようにする。